

☆プーチンよ、殺戮と破壊をやめよ

いかなる戦争にも反対！
プーチン大統領によって始まったウクライナ侵攻が今日で約50日になります。私たちは、いかなる戦争にも軍事支援にも反対です。

この戦争でなされている蛮行

- ◆ウクライナでは今日も、何の罪もない幼子、母親、病人、身体障害者、老人たちを含む民間人が殺されています。いまロシア軍によって行われていることは「国際法違反」などというレベルを遙かに超えた戦争犯罪と見られています。
- ◆そして、軍事施設と関係の無い民間の建物、「子どもたち」と地上に書かれた民間の劇場までも爆撃され、何百人もの子供たちが亡くなりました。

侵略戦争は嘘をつくことから始まる

- ◆ロシアのテレビ番組で、大人が自国の子供に対して「ロシアは子供や民間人を殺していないし、民間の家も攻撃していません」と説明する場面が流れました。
- ◆ロシアはこの軍事侵攻を「戦争」と言わず「特殊作戦」と言っています。民間の家の攻撃や民間人の殺害も、ウクライナの自作自演だと説明しています。
- ◆ロシアの公共テレビの放送中、突然女性職員が「国のプロパガンダ(宣伝)にだまされてはならない。ロシア人は戦争に反対!」と書いたプラカードをもって画面に現れ、全世界に流れました。これが真実でしょう。
- ◆しかしいま、プーチン大統領の支持率80%超といえますから驚きます。

日本、そして私たちのなすべきこと

- ◆一方日本では、この戦争に便乗した軍備増強論、核兵器共有論(安倍元首相)が頭をもたげています。これは、戦争放棄を謳った憲法九条と非核三原則に真に向から反する極めて危険な主張です。
- ◆先頃、自衛隊からウクライナに、防弾チョッキとヘルメットがアメリカ軍用機で送られました。一見民間の人々を守る非軍事物資のように見えますが、それに先だって岸防衛相とウクライナの防衛相のテレビ会談が行われたことからわかるように軍事支援に回った可能性があります。(新聞「朝雲」3・24付記事「自衛隊装備品を輸送」)
- ◆このように、一見人道支援のように見える行動が軍事支援への既成路線作りにつながる可能性に注意することが必要です。
- ◆日本が今なすべきは、戦争を放棄した国として、いかなる戦争にも反対し、プーチン大統領に即時停戦を強く働きかけることです。そして私たち個人のカンパすらも軍事支援につながっていないか注意することが必要です。

二〇二二年四月十日(日)護憲平和行進(通算662回目)
浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五
★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合



日本国憲法前文より

〔平和的生存権〕

われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

憲法第九条「戦争の放棄・交戦権の否認」

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段とし、前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。